

井奥まさきの市政ニュース

井奥まさき 検索
http://ioku3.sakura.ne.jp

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9
TEL 079-444-2343
FAX 079-444-2418

E-mail ioku3@gmail.com
FaceBook/LINE 井奥雅樹
twitter @ioku3

月刊+ 通算118号
2018年新年号

一般質問「エネルギー産業で仕事づくり」

なぜエネルギー産業か

- (1) 地域でお金をまわし雇用を作り出す経済・雇用対策
- (2) 高い光熱水費を下げるのが可能な福祉対策
- (3) ヒートショック死などを防止する健康対策

提言

- (1) 公共施設の屋根を使った太陽光発電機で電気代を節約
- (2) 「古い冷蔵庫を探せ」運動のように節電啓発を
- (3) 家の温度差調査や改善のエコリフォームへの助成を

12月議会の一般質問では選挙時からの公約の「エネルギー産業で仕事づくり」についてじっくりと質問を行いました。まず、エネルギー産業が人口減少社会の中で理想的な「成長産業」であることを指摘しました。今までエネルギーは石油・ガス・原子力発電所といった海外からの輸入資源に頼った発電を行ってきました。地域内や国内でエネルギーを賄うことで海外に流れ出ていたお金の流れを変えることができます。環境にも経済にも貢献できるエネルギー産業育成に向けて高砂市のできることを具体的に3つ提言しました。

その中の一つを紹介します。提言2「古い冷蔵庫を探せ」運動は節電啓発のユニークな事例です。冷蔵庫・クーラー・テレビは家庭の電力消費に占める割合が大きいものですが、一方で

技術革新も進んでいます。

例えば冷蔵庫は10年前の冷蔵庫(460L程度)と比べると新製品への買い替えで年間約1万円電気代を減らすことができます。460Lの冷蔵庫なら販売価格は10万円前後です。古い冷蔵庫をもう10年間使うより、適切な買い替えをした方が家計的にもトクであり、節電にもなるのです。長野県飯田市では「市内一番古い冷蔵庫」の家庭に1台冷蔵庫をプレゼントするという啓発活動をしています。それによって市民が自分の冷蔵庫の「古さ」や「消費電力」に気づき買い替え(節電)につなげようというものです。

2等以下は古さに応じて「市内電気店で使える」割引券も配られます。こんな風に地域商業も活性化させる「一石二鳥」のアイデアがエネルギー産業には豊富にあります。

行政の答弁は…残念ながら物足りないものでした。

「エネルギー産業での仕事づくり」はこの4年間でも全国各地での実践が急速に進んでいます。環境産業の成長は世界的な流れでもあり、高砂市にとって今後取り入れるべき重要な政策の柱だと感じています。今後も粘り強く提言していきたいと思えます。



パネルを使ってヒートショックの現状を説明。「実は北海道が冬のヒートショック死の割合が全国一低く、兵庫は高い。住宅改修が重要」



原価が無料の太陽、風を活用すべき。(あらい浜風公園にて)



市内のエネルギー資源は無限。新事業をはじめた下水道事業所のガス発電現場より。



長野県飯田市の啓発活動。

大苦戦の高砂市民病院 再生に向けた3つの提言

提言

- (1) 市民病院行きの無料バスの運行を
- (2) インターン医師や医学生こそ希望 奨学、奨励制度を
- (3) 「総合医」「訪問医療の拠点」など根本的な方針議論を

高砂市民病院が大苦戦です。新加古川市民病院が開設した影響が大きくなっています。

医師一人一人は頑張っておられますが、いかにせん30人で限界があります。(加古川市民病院は150人以上)12月議会で明らかになった最新の改革プランでは昨年28年度(2016)12月に発表したものより大幅な下方修正です。具体的には毎年3億円程度の一般会計からの持ち出しの追加です。

私は現状では市民病院単独での努力は限界があると考えています。

一定の不足分の税金投入を前提にしつつ、さらなる負担増とならないための将来への投資として高砂市が行なうべき3つの提言を議会で行いました。

すぐできる重要な政策は「インターン医師」への対応です。数少ない明るい材料として今年と来年2人ずつ前期研修医が配置されます。2



高砂市民病院の前期研修医の状況

	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)
1年目	2年連続新規がゼロ!	2人採用!	2人採用!
2年目	中途採用でなんとか	0	2
合計	中途採用でなんとか	2	4

研修医は前期(2年)と後期(3年・専門へ)の合計5年

年間の研修医を終え、後期3年間に市民病院に何人残るかが勝負です。まずは市長が4人に会い、高砂市に来ていただくことを直接お願いすべきです。次に奨励金や奨学金を貸付し、高砂市民病院に勤務すれば免除という制度を研修医や医学部生向けに創設すべきです。

他にも無料バス運行(2000-3000万円あれば十分対応できます)は平成30年度予算から実施すべきです。「無作為」は罪です。

山陽電車高架事業 できない計画より現実的なまちづくり計画を

問題点

- (1) 25年以上の事業 当面はまちづくりを放置!?
- (2) 沖浜平津線の高架廃止をはじめ、二重投資になる
- (3) 仮線など考えると380億円の事業費は今後水ぶくれ?

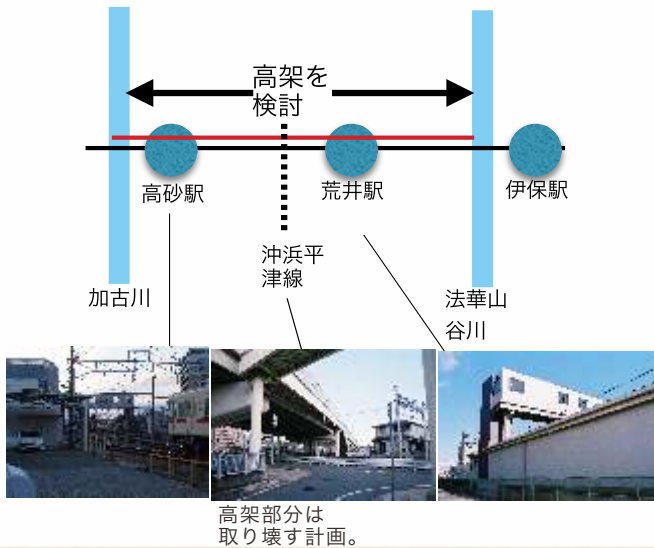
平成29年(2017年)9月に唐突に「加古川から法華山谷川までの山陽電車区間を高架する」という方針が登市長より示されました。兵庫県事業として行い、3年程度の調査も含めて約25年、総額380億円程度の事業だそうです。

質疑で昨年5月に兵庫県から突然「調査、研究しないか」と声がかかったことが明らかになりました。今まで議会ではいっさい議論せず、さまざまな計画にもまったく予定していなかった事業です。逆に沖浜平津線の高架事業(約60億円)建設の際に故木谷議員(当時市民)の監査請求に対して「山電高架は非現実的」と市や市議会が判断を示していた経緯があります。ちなみに山電高架事業が実施されれば、建設された沖浜平津線の高架部分は取り壊されます。

私や他の議員は上記の3つの問題点を指摘しています。

特に私が問題と思うのはまちづくりの遅れです。高砂地区は核となる商業施設(西友)撤退以後、苦戦が続いています。買収した開発業者の方針も見えず、地元業者で作ってきたサンモールも事実上の閉館です。高砂駅前も古い建

物が残り、まちづくりの話し合いも度々中断しています。「将来高架するから」と20数年先まで放置していたら、高砂地区は完全に廃れてしまいます。他にも「踏切改良」や「高砂駅、荒井駅の古い駅舎」もすべて「25年後に先送り」では高砂・荒井地区の未来はありません。事業費も「駅前開発も、高架事業も、当面の踏切改良も」と欲張れば欲張るほど全体の額が膨れ上



提言

- (1) 5年、10年先を見ずえた現実的なまちづくりを
- (2) 高砂駅前、サンモール跡地 官民の議論する場を
- (3) 朝夕の交通渋滞は建設事業以外の手法も考えるべき

がります。

非現実的な構想より、1階が店舗の駅前マンションの再開発ビルなど現実的な計画をたて、着実に実現していくべきです。



2015年12月31日に西友閉店。以来高砂地区の商業状況は悪化するばかり。ケンタッキーの閉鎖など、その後も苦戦が続き、2017年12月9日にはサンモールも事実上の閉鎖。

子育て日記

食生活って大事ですよー 野菜も食べようよ

史上最大の説得力のない質問?

9月の一般質問で「学校給食に菜食の日を」と提言し、「その体型では史上最大の説得力のなさだ」と野次られました。確かに昔は「食べるのをやめるのはお金がなくなった時だけ」と豪語し、「野菜はおなかにたまらない」と思っていました。しかし、40代での糖尿病発症を機に「少しでも」食事に気をつけるようになりました。

食べる量も以前の数分の一のつもりなんです、なかなか痩せませんね。

うらやましいのは娘で自分の顔の大きさ程度のおにぎりを食べても「体脂肪率マイナスだ」とか言っています。コンパクトな体でたくさん

食べるので、どこに入るのかと思っていましたが、最近背がによきにょぎ伸びてきたような気がします。

変えなきゃダメだろ、息子よ

息子は今の私の体型に似ています。先日のマラソン大会でも「遠くからなんだか太ったやつが来たな」と思ったら息子でした。好きなメニューも決まっていて、「ポテト、唐揚げ、ツナマヨ、白ごはん」があればご機嫌です。時々「枝豆」が加わります。

「せめて週1回は肉・魚を食べない菜食の日としよう」というミートフリーマンデー(MFMA)という試みがあります。肉食は動物を殺すことが前提であり、森林を破壊して放牧し

たり、肉をつくるのに大量の飼料が必要...と動物愛護や環境面、資源面でも課題があります。

そして、健康面でも過剰な肉食は問題があると指摘されています。

MFMAはせめて週1回くらいは肉食(魚)を断ち、食生活を考える日にしよう、という運動です。

息子よ、せめて月曜日は一緒に唐揚げ・ツナマヨ抜きで野菜をたっぷり食べようか。



活動日誌(抄) 2017/8~2017/12

- 8月4日 荒井地区夏祭り(物品貸出の担当で参加)
- 7日 全国政策研究集会in新潟に参加
- 21日 新公会計制度の勉強会講師(福岡)
- 29日 福島からイギリスへの避難者の話を聞く会参加(神戸)
- 9月11日 9月議会(11日~26日)
- 23日 荒井小学校運動会(PTA会長として準備など応援)
- 26日 兵庫議員ネット勉強会(ほぼ毎月実施)
- 29日 グローバルグリーンズ報告会(愛媛)
- 10月9日 あつまるか東はりまマダン20回フィナーレを手伝い
- 14日 カネミ被害者の会イベントを手伝い
- 10日~21日 衆議院議員選挙 辻元清美事務所、立憲民主党比例区など各地応援
- 23日 地方×国政策研究会(参議院議員会館)参加
- 11月8日 臨時議会
- 10日・11日 文教厚生常任委員会視察(福岡給食センターほか)
- 18日・19日 緑の党地域代表協議会(長野)
- 12月3日 荒井地区いっせい清掃(新浜自治会長として担当)
- 4日~14日 12月議会
- 16日 高砂市民まちづくり協議会(ユーアイ帆っとセンター)・・・毎月実施し、市政の現状を報告



市役所の電飾を見学(12/16)



グローバルグリーンズ報告会(愛媛 9/29)



福岡の給食センター視察 市民が見学できる施設(11/11)

井奥のつぶやき

- 4年連続の市長給与、議員報酬値上げ案が12月議会で賛成多数で可決。市長や議員の待遇は選挙直後に見直し、4年間動かすべきではないと考えて私は反対。
- 介護保険事業で「ボランティア型」の事業が大苦戦。出費も2000万円以上増。「動く市民」文化を育てていない現状の高砂市を象徴しています。